

# 23人のピアニストによる夏フェス! 2025

## <出演ピアニスト>



有森博 (ありもりひろし)

1992年東京藝術大学大学院修士課程修了。1990年第12回ショパン国際ピアノコンクール最優秀演奏賞。1991年岡山県芸術奨励賞を受賞。1992年第5回シドニー国際ピアノコンクール第4位。1994年第10回チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門入賞。1996年から2000年にかけてラフマニノフのピアノ作品全曲演奏会を成し遂げ、2001年にはプロコフィエフのピアノソナタ全曲演奏会を成功させ、ロシア音楽のエキスパートとして高い評価を受ける。1995年、2001年に小澤征爾指揮日本フィルと協演、内外のオーケストラと協演を重ね、2004年には小澤征爾指揮サイウキネンオーケストラのメンバーとしてヨーロッパ6カ国ツアー及び日本公演に参加。ソノラルバムで19枚のCDをリリース。東京藝術大学音楽学部教授。大阪音楽大学特任教授。公式ホームページURL arimori.info/



戸澤正宇 (とざわまさたか)

2002年千葉県東葛市生まれ。3歳半にヴァイオリン、4歳でピアノを始める。これまでにヴァイオリンを御木マコト氏に師事。作曲を故小島佳男、西尾洋の各氏に師事。ピアノを飯田陽子、秦はるひ、佐藤俊、後藤康孝、吉永哲道、沼田宏行、有森博の各氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校ピアノ専攻を経て、現在東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻に在籍。



新井奏汰 (あらいかなた)

4歳よりピアノをはじめ。第34回群馬県ピアノコンクール中学生部門優秀賞、ピアノF級全国ベスト賞。ショパンコンクールinアジア高校生部門全国大会金賞。これまでに小林真子、菅野雅紀、有森博の各氏に師事。現在東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校2年に在学中。



栗原良介 (くりはりょうすけ)

埼玉県出身。2004年生まれ。第26回ヤングアーティストピアノコンクールD部門銅賞(最高位)。第30回彩の国・埼玉ピアノコンクールE部門金賞。併せて埼玉新聞社賞、ヤマハ賞を受賞。第19回セシリア国際音楽コンクールピアノ部門大学生の部S入賞。これまでにピアノを上野真実、吉田友昭、角田俊子、有森博の各氏に師事。ソルフェージュを高橋裕氏に師事。埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻3年に在籍。



永井希望 (ながいきほろ)

2000年9月生まれ。5歳からピアノを学び始め、これまでにピアノを小田裕之、佐々木恵子、金子勝子、鈴木弘尚を始めとする各氏に、ソルフェージュを佐々木邦雄氏に師事。現在、ピアノを有森博氏に師事。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程器楽専攻ピアノ研究分野に在籍。



井関花 (いせきはな)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校在学中に、V・エーデル・ノルマル音楽院奨学生として留学。東京藝術大学音楽学部ピアノ専攻を卒業。同大学別科修了。在学中、角野裕、ジャン・マルク・レイサ、有森博、萩原麻未の各氏に師事。PTNAピアノコンペティション全国大会E級金賞。全日本学生音楽コンクール全国大会第2位。京都フランス音楽アカデミーにてJeune Talent賞/スカラシップ賞を受賞。現在、白百合学園中学高等学校音楽科講師。



佐伯日菜子 (さえきひなこ)

茨城県出身。東京藝術大学、同大学大学院修士課程を経て、現在博士後期課程に在籍。学内に大学院アカンサス音楽賞、'20年、'25年大クラヴィア賞、同賞金賞を受賞。茨城県新人演奏会にて茨城県新人賞、常陸文芸音楽賞を受賞。藝大フィルハーモニア管弦楽団、イ・ソリスティ・バラキとピアノ協奏曲を共演。茨城県演奏家連盟会員。朝明学園芸術短期大学指導助手。これまでに堀陽子、山田富士子、長瀬賢弘、有森博の各氏に師事。



中村絢音 (なかむらあやね)

2003年、福島県いわき市生まれ。5歳でピアノを始める。始めたばかりの頃は、アシュケナージの演奏に感銘を受けて、今もショパンは自分の中で特別な存在である。これまでに、丹治怜美氏、長瀬賢弘氏、現在有森博氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学音楽学部4年に在籍中。



岩井亜咲 (いわいあさひ)

第37回かながわ音楽コンクール ピアノ部門第1位。第18回フレデリック・ショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)本大会出場。第4回ノンフェスティバル・ショパンピアノコンクール第1位。第17回ヘステイングス国際ピアノ協奏曲コンクール(イギリス)にて、セミアナリスト賞受賞。神奈川フィルハーモニー管弦楽団、サウスバンクシンフォニア(イギリス)と共演。2021年度、2022年度京楽エンジェル基金(公社)日本演奏家連盟新進演奏家奨励金制度奨励生。現在、白水芳枝、藤井隆史、小川典子、有森博の各氏に師事。東京藝術大学大学院修士課程在学中。



澤辺明音 (さわへあかね)

第5回エレーナ・リヒテル国際ピアノコンクール高校生部門第1位。デザインジューン&学生国際音楽コンクール2015ピアノ部門一般の部第2位。第14回セシリア国際音楽コンクールリサイタル部門第1位。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部を卒業。同大学大学院修士課程を修了。これまでに上仲典子、深澤亮子、有森博の各氏に、フォルテピアノを小倉貴久氏に師事。神奈川県立弥栄高等学校音楽科非常勤講師。



中山瞳 (なかやまひとみ)

東京藝術大学を卒業後、ウィーン国立音楽大学室内楽科にて研鑽を積み、帰国後、東京芸術大学大学院修士課程を修了し、修了時に大学院アカンサス賞及び芸大クラヴィア賞を受賞。第29回飯塚新人音楽コンクール ピアノ部門第1位。第21回ヨハネス・ブラームス国際音楽コンクール ピアノ部門第2位。また、ザルツブルク・モーツァルト国際室内楽コンクール2019 in Tokyo 第2位を受賞。現在、東京芸術大学大学院室内楽科非常勤講師。



岩本きよら (いわもときよら)

兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。卒業後ウィーンにてソロリサイタルを開催。インスブルックにてオーケストラと共演。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団などイタリア各地で演奏し好評を得る。CD「ポルトキエヴィチの世界」に収録されるロシア人作曲家の作品を紹介し、レコード芸術誌準推薦盤に選出。NHK-FM放送「リサイタル・ノヴァ」にポルトキエヴィチを中心としたロシアプログラムにて出演。現在「きよらPIANO教室」を主宰。



熊突龍 (シュンエキヤマ)

3歳よりピアノを始める。小学6年生で中央音楽学院門附属中学校に入塾し、本格的に音楽の道を歩み始める。大学では広島県立音楽院に進学し、坂根真知子プログラムに選出され、諸大木教授のもとで研鑽を積み、現在東京藝術大学大学院音楽研究科に在籍し、有森博教授に師事している。



牧野彩花 (まきのあやか)

2004年生まれ。第4回ギャラクシティ音楽コンクール高校生部門第1位及びコンチェルト賞を受賞し、音の泉音楽家連盟と共演。第7回ソナタコンクール全奏章部門金賞。東京芸術大学アカンサス賞及び芸大クラヴィア賞を受賞。第29回飯塚新人音楽コンクール ピアノ部門第1位。第21回ヨハネス・ブラームス国際音楽コンクール ピアノ部門第2位。また、ザルツブルク・モーツァルト国際室内楽コンクール2019 in Tokyo 第2位を受賞。現在、東京芸術大学大学院室内楽科非常勤講師。



上田智子 (うえだともこ)

兵庫県立西宮高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部器楽科を卒業。卒業時に同学生会賞を受賞。同学生会新人演奏会、ヤマハ音楽フェスティバル2010に出演。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。修了後、ピアノ演奏優秀者によるジヤンリサイタルの出演者に選出される。現在は首都圏や関西を中心に演奏活動を重ね、後進の指導にも積極的にあたる。全日本ピアノ指導者協会指導員。指導者賞を受賞。



高倉圭吾 (たかくらけいご)

第5回野島松橋よすかピアノコンクール2位。東京藝大モーションコンサート出演。第15回G.Pecar国際ピアノコンクール1位。Les Musicales du Centre 即興部門1位。第90回日本音楽コンクール3位。パリ国立高等音楽院を経て東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。並びに藝大クラヴィア賞、大学院アカンサス音楽賞を受賞。日曜劇場「VIVANT」オリジナル・サウンドトラック、Vn.大島理紗子氏とのカバールアルバム「バイオリン」スタジオジブリなどからリリースされている。現在東京藝術大学にて非常勤講師を務める。



松山聡花 (まつやまさともか)

富山県出身。第6回いわかみ国際ピアノコンクールファイナリスト。第9回とやまクラシックピアノコンクール シニア部門Dコース金賞、グランプリ。第41回富山県青少年音楽コンクールピアノ部門・中高生の部最優秀賞、北日本新聞社長賞、全国新聞社音楽コンクール上位入賞者演奏会「交流の響きin かわさき2024」に出演。高森静香、竹内啓子、有森博の各氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校1年に在学中。



奥田ななみ (おくだななみ)

東京藝術大学器楽科卒業。京都フランス音楽アカデミーにてスカラシップを受賞し、パリ・エーデル・ノルマル音楽院にて、ピアノ科、室内楽科高等演奏家ディプロマを取得。パリ国立高等音楽院修士課程ピアノ科、第3課程アーティスト・ディプロマ演奏・創作アンサンブルNEXT、室内楽科修士課程を修了。現在、即興演奏科、エグジューション科に在籍。令和2年度文化庁新進芸術家海外研修員、RMF2023年、2024年度奨学生。



伊達広輝 (だてひろき)

2000年生まれ。兵庫県出身。2006年度、学内に藝大クラヴィア賞、'22年、藝大クラヴィア賞、アカンサス音楽賞、同賞金賞を受賞。ソロリサイタルを開催する他、全国各地で演奏活動を行う他、アウトリーチや後進の指導にあたる。これまでにエウフォニア管弦楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。現在、有森博氏に師事。兵庫県立西宮高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部器楽科を経て、同大学音楽研究科修了。2021年度公益財団法人青山音楽財団、2022年、23年度一般社団法人福島英会奨学生。



村岡柚香 (むらおかゆうか)

5歳よりピアノを始める。第44回全日本ジュニアクラシック音楽コンクールピアノ部門高校1年生の部第3位(第1位該当者なし)。これまでにピアノを佐藤圭典、財清和音、堀本枝木子、有森博の各氏に師事。埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科を経て、現在東京藝術大学音楽学部器楽科1年に在学中。



角谷千綯 (かくたちちえよ)

兵庫県立西宮高等学校音楽科、東京藝術大学卒業後退学し、ニール・ベルク音楽大学修士課程ソロ科、および国家演奏家資格課程を修了。これまでに辻澤洋子、岡原慎也、荒木美佳、有森博、Wolfgang Manzの各氏に、ピアノデュオを角野裕、室内楽をNina Janßen-Deinzerに師事。第34回兵庫県高等学校独奏独唱コンクールピアノ部門金賞。第5回刈谷国際音楽コンクールピアノ部門一般の部準グランプリ。第9回ヨハネス・ブラームス国際室内楽コンクール(ポーランド)入賞。モーツァルト協会室内楽コンクール第1位。学内スタンウェイコンクール第1位。また学内オーケストラと共演。



谷口和真 (たにぐちかずま)

滋賀県出身。4歳よりピアノを始める。滋賀県ピアノコンクール、京都ピアノコンクール、クオリティ音楽コンクール等で1位入賞。平和堂財団芸術奨励賞。東京藝大ジュニア・アカデミー 第3期生。成果披露演奏会にて藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。これまでに、辰巳恵美、堀見晃、植田克己、角野裕、有森博の各氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部1年に在学中。



幸重明日香 (ゆきしげあすか)

東京藝術大学を卒業。同大学院ピアノ修士課程および博士後期課程を修了。博士号(音楽)を取得。在学時にはピアノ科1Aを務めた。2021年、2022年度 福島英会奨学生。第13回日本演奏家コンクール第2位。第2回クオリティ音楽コンクール第1位。第9回エレーナ・リヒテル国際ピアノコンクール第2位など数々のコンクールに入賞。第25回ABC新人コンサート音楽賞を受賞。リサイタルとして日本センチュリー交響楽団、テレビ室室内楽管弦楽団と共演。岡原慎也、二本柳宗洋子、野山真希、坂井千春、有森博の各氏に師事。現在、東京藝術大学教育研究助手。